

施策評価シート

施策等名称	道路・河川建設対策	体系番号	0501010303
		主管課	建設課

1 施策基本情報

現状と課題	道路や橋梁など住民の日常生活を支えるインフラ施設は、老朽化が進んでおり、計画的な修繕や長寿命化を推進する必要があります。 近年の異常気象によるゲリラ豪雨や台風がもたらす大雨による被害を防ぐため、緊急性や必要性、重要性等を考慮した計画的な河川改修・修繕を行う必要があります。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	「災害に強い安全・安心な道路、河川の整備」、「快適な交通体系の構築」、「豊かな自然を活かし環境に配慮した道路、河川の整備」の3つを基本方針として、快適で安全な災害に強い道路・河川等の整備充実を図ります。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	生活道路改良等路線数	路線/5ヶ年累計		15.00
②	橋梁修繕数(累計)	橋	15.00	25.00
③	河川改修数(5年間累計)	河川		5.00

施策の柱 1	名称	道路改築・改良事業		主管課	建設課		
	詳細	日常生活に欠かすことができない生活道路等をより安全に、快適に利用していただくため、道路改良、舗装改良、水路・側溝改修及び修繕工事を実施します。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	生活道路改良等路線数	路線/5ヶ年累計	0.00	15.00	1 生活道路整備事業	実施
	2					2	
	3					3	
						4	
						5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の体系	名称	中・大規模道路修繕事業		主管課	建設課		
		詳細					市内幹線道路、生活道路の舗装について、路面性状調査や点検により、路面のひび割れ状況等を把握し、計画的な修繕を実施します。
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	舗装修繕延長	km	14.00	37.00	1 生活道路整備事業	実施
	2					2 舗装修繕事業	実施
	3					3	
						4	
						5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の柱 3	名称	道路橋メンテナンス事業		主管課	建設課		
		詳細					橋梁の損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う予防保全的な修繕を行い、橋梁の長寿命化を図り、市内道路網の安全性・信頼性を確保します。
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	橋梁修繕数(累計)	橋	15.00	25.00	1 橋梁修繕事業	実施
	2	点検橋梁数	橋	438.00	504.00	2 道路橋法定点検委託事業	実施
	3					3	
						4	
						5	
						6	
	基本政策間連携						

施策評価シート

施策等名称	道路・河川建設対策	体系番号	0501010303
		主管課	建設課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系	名称		河川整備事業		主管課	建設課			
	詳細		流域の住民が安全で安心して生活できるよう、流域の住民と連携した川づくり、計画的な河川改修を行います。						
	施策の柱 4	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
		1	河川改修数(5年間累計)	河川	5.00	8.00	1	河川自然災害防止事業	実施
		2					2		
		3					3		
	基本政策間連携								
	名称				主管課				
	詳細								
	施策の柱 5	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
		1					1		
		2					2		
3						3			
基本政策間連携									
名称				主管課					
詳細									
施策の柱 6	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分		
	1					1			
	2					2			
	3					3			
基本政策間連携									

施策等名称	道路・河川建設対策	体系番号	0501010303
		主管課	建設課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	生活道路改良等路線数	0.00	6.00	9.00	9.00	11.00	12.00
1		15.00	40.00	60.00	60.00	73.33	80.00
変動要因等	2018年度	大池、新井、鉄山、御狩野、両久保、中大塩の路線が終了。					
	2019年度	坂室、中道、塩之目の路線が終了。					
	2020年度	山口、白井出の路線を着手、完成は令和3年(2021年)を予定。					
	2021年度	山口、塩之目路線が完了。					
	2022年度	御狩野線路線が完了					
施策	橋梁修繕数(累計)	15.00	16.00	20.00	22.00	22.00	23.00
2		25.00	64.00	80.00	88.00	88.00	92.00
変動要因等	2018年度	宮川橋終了。					
	2019年度	中央道に架かる橋が終了。					
	2020年度	公園大橋、西茅野大橋が終了。					
	2021年度	中大塩下大橋上部工が完了。					
	2022年度	横河橋が完了。					
施策	河川改修数(5年間累計)	0.00	1.00	2.00	6.00	0.00	7.00
3		5.00	20.00	40.00	120.00	0.00	140.00
変動要因等	2018年度	北川終了。					
	2019年度	山口沢川、百々川終了。					
	2020年度	才野川、田沢々川(菊沢)、大日影川、半蔵川が終了。					
	2021年度	田沢々川改修設計委託を実施し、令和4年(2022年)から工事着手。					
	2022年度	田沢々川工事着手、金山沢川が工事完了。					
柱1	生活道路改良等路線数	0.00	6.00	9.00	9.00	11.00	12.00
1		15.00	40.00	60.00	60.00	73.33	80.00
変動要因等	2018年度	大池、新井、鉄山、御狩野、両久保、中大塩の路線が終了。					
	2019年度	坂室、中道、塩之目の路線が終了。					
	2020年度	山口、白井出の路線を着手、完成は令和3年(2021年)を予定。					
	2021年度	山口、塩之目路線が完了。					
	2022年度	御狩野線路線が完了					
柱2	舗装修繕延長	14.00	14.36	14.80	14.88	15.04	15.66
1		37.00	38.81	40.00	40.22	40.65	42.32
変動要因等	2018年度	神之原4-456号線360m完了。					
	2019年度	神之原4-456号線440m完了。					
	2020年度	神之原4-456号線75m完了。					
	2021年度	上原1-2号線160m完了					
	2022年度	2級10号線619m完了					
柱3	橋梁修繕数(累計)	15.00	16.00	20.00	22.00	23.00	24.00
1		25.00	64.00	80.00	88.00	92.00	96.00
変動要因等	2018年度	宮川橋終了。					
	2019年度	中央道に架かる橋が終了。					
	2020年度	公園大橋、西茅野大橋が終了。					
	2021年度	中大塩下大橋上部工が完了。					
	2022年度	横河橋が完了。					

施策等名称	道路・河川建設対策	体系番号	0501010303
		所管課	建設課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱3 2	点検橋梁数	438.00	504.00	86.00	120.00	125.00	55.00
		504.00	100.00	17.06	23.81	24.80	10.91
変動要因等	2018年度	66橋の点検終了。5カ年サイクルの1回目が終了。					
	2019年度	86橋の点検終了。5ヶ年サイクルの2回目開始。					
	2020年度	120橋の点検終了。					
	2021年度	125橋の点検終了。					
	2022年度	55橋の点検完了。					
柱4 1	河川改修数(5年間累計)	0.00	1.00	3.00	7.00	0.00	1.00
		8.00	12.50	37.50	87.50	0.00	12.50
変動要因等	2018年度	北川終了。					
	2019年度	山口沢川、百々川終了					
	2020年度	才野川、田沢々川(菊沢)、大日影川、半蔵川が終了。					
	2021年度	田沢々川改修設計委託を実施し、令和4年(2022年)から工事着手。					
	2022年度	田沢々川工事着手、金山沢川が工事完了。					

施策等名称	道路・河川建設対策	体系番号	0501010303	
		主管課	建設課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)		2019年 (前年度比)		2020年 (前年度比)		2021年 (前年度比)		2022年 (前年度比)	
投資額	事業費(円)	579,057,337		505,248,027	0.87	441,277,094	0.87	479,876,382	1.09	461,187,472	0.96
	うち一財(円)	120,899,337		118,753,398	0.98	110,763,094	0.93	119,969,000	1.08	115,760,713	0.96
	増減理由 (一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)										
進捗評価		順調		順調		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調	
総合評価	主な取組内容や成果	今年度(5ヶ年)にかけて行ってきた504橋の橋梁点検が終了した。舗装集中修繕事業は、第1期工事(5ヶ年計画)4年目を迎え計画的に進めることができている。交付金事業は中大塩幹線が終了し、神之原2級8号線を中心に進めることができている。		5ヶ年で行った橋梁点検を基に第2期橋梁長寿命化計画の策定を行い、修繕計画の立案がされた。舗装集中修繕事業は、第1期工事に位置付けた箇所が終了した。(L=22,790m)交付金事業は橋梁修繕と、2級8号線が計画的に進められている。		舗装集中修繕事業は、第2期工事(R2~R6)に位置付けた箇所を着手した。交付金事業はメンテ事業(橋梁修繕、点検)は第2期橋梁長寿命化計画に基づき計画的に進められ、2級8号線は第1期工区を開通することができた。1級18号線は設計業務を繰越により対応中である。		舗装集中修繕事業は、第2期工事(R2~R6)に位置付けた箇所を着手し計画的に実施している。交付金事業はメンテ事業(橋梁修繕、点検)は第2期橋梁長寿命化計画に基づき計画的に進められ、1級18号線は設計業務を実施地元調整中である。		(R4・総括評価共通)舗装集中修繕事業は、第2期工事(R2~R6)に位置付けた箇所を着手し計画的に実施している。交付金事業はメンテ事業(橋梁修繕、点検)は第2期橋梁長寿命化計画に基づき計画的に進められ、1級18号線は地元調整中であるがR5年度から事業再開する。	
	課題	橋梁点検が終了し、修繕工事について計画を見直す必要がある。レベル3以上(修繕が必要)の橋梁が47橋ある中、橋梁修繕費の確保と、地元区からの要望に対する工事費の確保が課題である。		橋梁修繕については国も推奨している事業であるので計画的に進める必要がある。交付金事業について、新規事業を含めた計画と、スケジュールを考慮した全体計画が必要である。		メンテ事業(橋梁修繕)について経過観察中の20橋の修繕方針を検討する必要がある。交付金事業について、有利な交付金(強硬化事業)を検討する中で、2級8号線、1級18号線の年次計画を再検討する必要がある。		メンテ事業(橋梁修繕)については、経過観察中の20橋の修繕方針と通行規制している4橋の対応を検討する必要がある。交付金事業について、有利な交付金(強硬化事業)を検討する中で、2級8号線、1級18号線の年次計画を再検討する必要がある。		(R4・総括評価共通)メンテ事業(橋梁修繕)については、経過観察中の20橋の修繕方針と通行規制している4橋の対応を検討する必要がある。交付金事業について、有利な交付金(強硬化事業)を利用し、1級18号線早期完了に向けて確実に補助金の確保を必要とする必要がある。	
改革・改善	改革・改善内容	交付金を利用した事業を進めること、修繕費を意識した修繕方法を検討する必要がある。今後、レベル3からレベル2(経過観察)まで修繕し、長寿命化を図っていききたい。また、地元区からの要望事項を優先し、早急な対応をすることで市民の満足度を上げることが必要である。		地元区からの要望事項を翌年度に対応し、市民の満足度を上げていきたい。社会情勢が変化していること(福沢工業団地、旧鬼場橋、1級17号線)に対し、交付金事業について全体計画の立案が必要である。		メンテ事業(橋梁修繕)について、経過観察中の20橋の修繕方針を検討し、安価な工事費で対応できる橋梁については工事を検討する。2級8号線、1級18号線の用地交渉において地権者との折衝状況から優先する事業内容を検討し、全体計画を再検討する。		メンテ事業(橋梁修繕)について、経過観察中の20橋の修繕方針を検討し、安価な工事費で対応できる橋梁については工事を検討する。1級18号線の用地交渉において地権者との折衝状況から優先する事業内容を検討し、全体計画を再検討する。		メンテ事業(橋梁修繕)について、経過観察中の20橋の修繕方針を検討し、橋梁損傷度の高い橋梁については早期工事を実施していく。1級18号線の工事実施を効率的に実施できるよう、国庫補助金の補正予算や管内流用を積極的に活用していくことが必要である。	
	重点化する施策の柱	1		1		1		1		1	
	理由	生活道路改良事業を推進することで、市民の生活に直結したインフラ整備を行い、安全性の確保、満足度の向上へ繋がっていききたい。		生活道路改良事業を推進することで、市民の生活に直結したインフラ整備を行い、安全性の確保、満足度の向上へ繋がっていききたい。		生活道路改良事業を推進することで、市民の生活に直結したインフラ整備を行い、安全性の確保、満足度の向上へ繋がっていききたい。		生活道路改良事業を推進することで、市民の生活に直結したインフラ整備を行い、安全性の確保、満足度の向上へ繋がっていききたい。		生活道路改良事業を推進することで、市民の生活に直結したインフラ整備を行い、安全性の確保、満足度の向上へ繋がっていききたい。	